



いたびっ
板櫃

<校訓>
真理の探究
自主躍進

令和6年7月19日(金)発行
校長 栗原 博巳
北九州市小倉北区白萩町8番1号
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>

自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～

<目指す生徒像>

- ① 「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
- ② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
- ③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
- ④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

目標・計画をはっきり「実りある夏休み」に① ～気持ちのゆるみから起こる事故・事件に気をつけよう～

夏休みがやってきます。よく「夏休みは自分を大きく伸ばすチャンスの時」と言われます。なぜ、それほど夏休みが大切なのでしょう。それは、絶対的な「時間」があるからです。時間がたくさんあるということは、「可能性」がたくさんあるということです。自分を伸ばす、よりよく変える可能性です。

学級や学年での担任の先生方の指導を通して、みなさんは夏休みの過ごし方の目標を立てたことと思います。それは、まぎれもなく自分の将来の進路実現に向けてのものであると思います。3年生は入試や自分の将来を考え、進路決定に向けてしっかりと力をつけていく必要があります。

その中で、自分をよりよく伸ばしていくために一番大切なこと、それは「目標をもつこと」です。どんなことでもですが、「自分がこうありたい」「こうなりたい」という思いがないところには成長はありません。「部活動でレギュラーになる」「〇〇で全国大会に行く」「〇〇高校の△△科に行きたい」というような具体的な目標がある人は、それに向かって努力していくはず。なかなか目標が見つからない人も、例えば「夏休み明けの課題テストで頑張る」「2学期の中間考査の国語で〇〇点をとりたい」などのものでいいのです。そうすると、「目標達成のためには自分は何をどれくらいやらなければならないか」という「計画」がたちます。さらに「計画」が立つと「実践(実行)」も生まれます。「実践(実行)」があれば「反省」が生まれます。そして、「反省」があると次の「新たな目標」が出てきます。(学校通信第154号【大谷選手の目標達成シート】を参考)

つまり「今の自分→目標→計画→実践→反省→新たな目標」このサイクルで人は成長していくのです。(先生たちが使っている難しい言葉でいうと、「R-PDCAサイクル」といいます。)

「夏休みの宿題」「夏休みの過ごし方」も配付されました。この夏休み、自分自身のために、有意義な時間の使い方をして、自分自身の可能性を大きく広げるために、より具体的な目標を立てましょう。そして、その目標を達成するための計画を立て、努力していきましょう。

ただ、自分を追い込むばかりでも駄目です。友達や家族と楽しい時間を過ごすことも大切です。とにかく、「ボーとして、何もしない夏休み」だけにはならないように。

■追記:新型コロナウイルス感染もまだまだ広がっているようです。1学期末には北九州市内の小中学校で学級閉鎖もあっています。ただ、今年はオリンピックもあり、楽しみな一面もありますね。



<保護者の皆様へ>

夏休みが始まります。特に、中学3年生の夏休みは「一生の中で一番勉強する夏休み」と聞いたことがあります(もちろん人にもよりますが)。3年生については、勉強はもちろん、進路について、是非お父さまと話し合ってください。そして、大切な進路決定の時期ですので、『自分を大切にしよう』というのは言うまでもありません。近年、「恐喝や暴力」「性被害」に巻き込まれる件数が高くなっています。いずれも、夏休みの開放感から起こる事件です。特に、外出時の「派手な服装や身なり」は格好のターゲットになります。2学期の始業式、全員が笑顔で登校してくれることを願っています。
●夏休み中の転居等については、担任(代表勤務の先生)または教頭先生にお知らせください。

<生徒のみなさんへ>

2学期の始業式は、8月26日(月)です。持ってくるもの、学級で提出するものについては担任の先生の連絡を聞いてください。始業式は、服装をきちんと整えて登校しましょう。8月27日(火)は課題テストです。課題テストの勉強も頑張りましょう。

- ～当たり前のルール～ ※詳しくは「夏休みの過ごし方」のプリントを読みましょう。
- 決められた時間までには、家に帰りましょう。(塾や夏期講習を受講している人は、終わり次第すぐに帰宅しましょう。)
 - 万が一交通事故にあつたら、すぐに学校に知らせましょう。
 - 感染症防止のため友人宅等への外泊はしない。(家の人が留守の友人宅への訪問もしない)
 - ゲームセンター等の施設は保護者又は責任ある大人と行くこと。
※ ゲームセンターは保護者同伴でも立ち入り禁止の時間帯があります。
 - 携帯電話・スマホはマナーを守ること。(SNSのトラブルが多くなっています)
 - 法律に触れる行為はしないこと。
 - 部活動や習い事では熱中症予防のために十分な水分、食事、睡眠時間を確保すること。
 - 外出時は感染防止に十分注意すること。



■SNSについて ▼子どものSNS利用は保護者がしっかり把握する▼

小・中学生のうち、SNS 利用に保護者の介入、つまりペアレンタルコントロールが欠かせません。スマートフォンのペアレンタルコントロール機能を活用して、SNS の利用時間をしっかり把握してください。(ゲームアプリや動画アプリ、インターネットなどの使用状況も)夏休みに入ってからのアプリの利用時間が以前より増えているなら要注意です。使い過ぎにならないよう、アプリやスマートフォンの使用時間を制限することも必要です。

もちろん、一方的に使用時間を制限するだけでは、子どもも反発するかもしれません。夏休みをいい機会として、スマートフォンの使い方について話し合ってみてください。親が押し付けるのではなく、子どもに自分の意見として「ルール」を決めさせることがポイントです。

<子どもに考えてもらいたいスマホ利用のポイント>

- ・使っていい時間や場所
- ・使ってはいけないタイミング(食事や勉強中など)
- ・約束を破ったときにどうするか

いつ、どこで使えるのか、どれくらいの時間なら使っていいのか、使ってはダメなタイミングはどんなときかなど子どもにルールを考えさせます。そして、自分で考えたルールを破ってしまったときはどうするかまでルールにしておきます。子どもとつくったルールを基に、夏休みの1日のスケジュールを立ててみるというでしょう。自分自身で考えさせることが大切です。 【セコム HP 参照】

